



iPadでこれからの学びをデザインする

学びの環境を整える

目次

イントロダクション	03
テクノロジーを管理する	04

教育委員会や学校でリーダーの役割を担うみなさんにとって、今は非常に大切な時期です。同時に、この時期は自治体や学校にポジティブな変化をもたらすきっかけのときでもあります。テクノロジーを活用し、学びのあり方を再考することで、生徒の意欲が引き出され、より創造的な学習体験を生み出すことができます。これからの学びを前へ進めるため、Appleは学校の管理職や教育委員会、教師、政府機関、企業、そして保護者のみなさんと取り組み続けます。今後、学びの形がどのようなものになるとしても、教師のみなさんと生徒たちにインスピレーションを与えられるようにテクノロジーをデザインし、構築するというAppleが40年以上取り組んできた活動は続いています。

ビジョン

どの学校でも、どの教育委員会でも、教育におけるビジョンを掲げることは大切です。ビジョンとは、「変化する世界の中で、子どもたちの課題を解決する能力を育む」、「生徒がグローバル社会の一員として活躍できる人物になれるようサポートする」などのように、学びにおける意義や目標を示す指針のことです。そして同時に重要となるのが、適切なテクノロジーを取り入れることで、既存のビジョンを再考し、より良いものへと進化させることです。管理職を中心とするチームで話し合い、自治体や学校でこれからの学びを実現するための新しいビジョンを明確にし、取り入れるべきテクノロジーについて考えてみましょう。

テクノロジーを活用して指導と学習のレベルをさらに高めることは重要な取り組みです。「iPadでこれからの学びをデザインする」では、教育の現場に現在求められている変化に対応し、各学校や教育委員会のビジョンの実現に向けてAppleとともにこれからの学びをデザインする上で重点的に取り組むべき主な領域を、右に示した要素に分けて紹介します。これらの要素は、Apple製品を学習コミュニティで広く活用しているリーダーたちと話し合った結果を基に作成されたものです。みなさんの自治体や学校でも、すでに手応えを感じている領域もあれば、これから注力し、取り組む必要のある領域もあることでしょう。教育委員会の担当者や学校の管理職チームなど、教育の進むべき方向性を示すリーダーたちでこれまでの経過を振り返る際に、ぜひこれらのガイドを活用してください。



チームを作る >

さまざまな側面で計画をサポートし、地域コミュニティと連携を続けながら、円滑に取り組みを進められるように、複数の部門で構成されるチームを作ります。



キャパシティを広げる >

それぞれの人材の能力や使えるリソースを把握して、すべてのメンバーをサポートできるようにし、先を見越して学習環境におけるニーズに対応します。



コミュニティと連携する >

コミュニティの人々が、柔軟な学習環境において生徒たちを積極的にサポートするために果たせる役割を理解できるよう支援します。



学習と指導を再考する >

iPadがある学習環境に合わせて授業のあり方を再構築し、生徒たちの意欲を高め、新しい学びの達成を目指します。



テクノロジーを管理する >

iPadを中心にしたテクノロジーを導入・管理し、教育委員会や学校のビジョンをサポートする学習環境を、家庭でも学校でも実現します。



評価して成長する >

進捗を評価して管理するための目標を設定するときは、常に教育のビジョンを念頭に置いてください。目標を達成するための新しい方法を探れる機会です。



学びの環境を整える

テクノロジーを管理する

このガイドでは、学校でも家庭でも最適な学習環境を実現できるように、iPadを中心にしたテクノロジーを導入・管理するための方法を紹介します。

現代のテクノロジーは学校を支える基盤となるものです。テクノロジーを活用することで、さまざまな環境や状況で一貫した指導と学習を行えるようになります。また、テクノロジーを整備し、効果的に管理すれば、新しい授業計画の基盤として学習を後押しすることができます。Appleのエコシステムには、IT担当者が安全かつ効率的にデバイスを管理しながら、生徒や教師のみなさんに素晴らしい学習体験を提供できるパワフルなツールが揃っています。iPadは使いやすいだけでなく、導入も簡単です。

デバイス

効率的にテクノロジーを管理するためには、生徒と教師のみなさんへのデバイスの配付をどうするかが重要です。Appleのリソースでは、プライバシー、インターネットフィルタリング、コンテンツなどに関する教育委員会や学校の要件や方針に合わせてiPadを設定し、生徒たちに配付するためのベストプラクティスを紹介しています。また「[GIGAスクール構想をAppleと](#)」では、Apple製品を導入するためのヒントや、IT担当者のみなさんをサポートするツールなどを紹介しています。

設定して導入する

[Apple School Manager](#)は、IT担当者のみなさんが学校にiPadやMacを導入するのに役立つシンプルなウェブベースのポータルです。デバイスの設定、アプリケーションやブックの入手、教師のみなさんが使用するツールの提供をすべて1か所で行えます。[持ち帰り学習](#)に備えて、サポート記事「[学校のApple製デバイスをリモート学習に利用できるよう準備する](#)」に従って、学校で使うiPadとMacの設定を簡単に進めることもできます。

管理する

生徒や教師のみなさんがどこでiPadやMacを使う場合でも、IT担当者はMDM（モバイルデバイス管理）ソリューションを使って設定や制限、コンテンツを管理できます。教えるためのツールや、登録、管理などに関する継続的なサポートについては、Appleの「[教育のサポート](#)」ページを参照してください。

インターネット接続

[持ち帰り学習](#)でiPadを家庭で使えるようにデバイスを設定して導入する際には、校外でもネットワークに接続できるように準備することが大切です。生徒や教師のみなさんが校外でデバイスを使う場合は、接続品質を評価しましょう。十分なWi-Fi環境を用意できない自治体や学校の中には、モバイルWi-Fiルーターを配付しているところもあります。常時接続できない場合でも、iPadでインターネット接続が不要なApple製のアプリケーションを使って、さまざまな方法でクリエイティブな課題に取り組むことで、学習効果を高めることができます。

コミュニケーションとコラボレーションツール

コミュニケーションとコラボレーションに共通のプラットフォームを使うことで、生徒と教師のみなさんのつながりを保てるだけでなく、トレーニングやサポートも効率的に行えるようになります。すでにお使いのソリューションがあっても、場合によってはサービスを拡張したりライセンス数を増やしたりする必要があります。

Apple製のアプリケーション

Apple製デバイスでは、[Pages](#)や[Numbers](#)、[Keynote](#)などのパワフルなアプリケーションを無料で使うことができます。こうしたアプリケーションとApple IDを使えば、生徒たちはオンラインでいつでも簡単に共同作業に取り組むことができます。

Google WorkspaceとMicrosoft 365

Google WorkspaceやMicrosoft 365など、iPadやMacに対応する学習効率向上やコラボレーションのためのツールを活用しましょう。Cisco WebexやZoomなどのウェブ会議ツールも使えるので、生徒や教師のみなさんは簡単につながったり、画面を共有したりできます。

フィードバック

[スクールワーク](#)を活用すれば、教師のみなさんは[Pages](#)、[Numbers](#)、[Keynote](#)を使ったアクティビティの課題を簡単に取り入れることができます。コメントを追加したりオーディオを録音したりすることで、生徒たちにリアルタイムでフィードバックを提供しましょう。ほかにもiPadとスムーズに連係する便利なプラットフォームやツールがさまざまな企業から提供されており、生徒と教師のみなさんがやり取りするためのフィードバックツールも実装されています。

コンテンツ

教育委員会や学校では、多くの場合、主に使用するサブスクリプションサービス、アプリケーション、教材の一式を用意および管理しており、学年ごとに提供するリソースを変えています。学習環境をサポートするリソースやツールには、簡単にアクセスできなければなりません。新しいリソースを探す前に、現場の教師がもっと活用したいと判断したリソースへのアクセスを広げ、不要なものは使用を取りやめるとよいでしょう。既存のリソースの中に思ったよりも役立つものが眠っているかもしれません。教育委員会や学校全体で提供するリソースに加え、教師のみなさんや生徒たちがほかのツールやコンテンツを探して利用できるようにすることも検討してください。

トレーニングとサポート

トレーニングやサポートを、生徒たちがそれぞれの家庭でも利用できるようにしましょう。保護者や家族のみなさんがデジタルデバイスやオンラインコンテンツを活用できるようにするためのサポート資料を提供している自治体や学校もあります。

トレーニングセッション

生徒や保護者のみなさん向けに、トレーニングやトラブルシューティングのセッションをライブ配信または録画の形式で定期的に提供することを検討してください。

トラブルシューティング

教師、生徒、または保護者のみなさんが、手助けが必要な場合に安心して利用できる、わかりやすいサポートやサービスを計画してください。[持ち帰り学習](#)により生徒たちが自宅でiPadを使っている場合、自宅の設備やデバイスについて手助けが必要な生徒をサポートする方法を検討しましょう。

プライバシーとセキュリティ

オンラインでの情報のやり取り、コミュニケーション、作業が多くなるほど、そのような用途のためのツールやプラットフォームを評価する際にプライバシーを考慮する重要性が高まります。生徒や教師のみなさんが自由に新しいアプリケーション、ツール、プラットフォームを選べるようにしている場合は、教育委員会および学校の方針やプライバシーに関する基準に基づくガイダンスを提供するとよいでしょう。

[Appleの製品はプライバシーの保護を重視して作られています](#)。どの情報を共有するかも、ユーザー自身が管理できます。また、IT担当者はMDM(モバイルデバイス管理)を使って生徒のデバイスを安全に保護できるので、生徒たちはオンラインでも安心して学習に取り組むことができます。

まずはここから始めてみましょう：教育委員会向け

新しい学習環境をサポートするため、各学校でそれぞれの要件に合ったリソースやツールを利用できるように支援しましょう。Appleのエコシステムを活用すれば、プライバシーとセキュリティに考慮しながら、教師のみなさんが必要とするプラットフォームやコンテンツを提供することができます。

まずはここから始めてみましょう：学校のリーダー向け

Appleのエコシステムを活用し、教師のみなさんが必要とするリソースやツールに簡単にアクセスできる環境を整えましょう。生徒に学びをもたらすことに集中してもらうためにサポートを提供する必要がある場合は、教育委員会に協力を求めてください。